項目	内容
名称	ローズヒップ [英]Rose Hips、Wild Dog Rose、Dog rose [学名]Rosa species、Rosa canina 、Rosa laevigata Michx. 他
概要	ローズヒップは、様々なバラ科バラ属 (Rosa L.) の果実をさす。欧米で多用される品種であるRosa caninaは、ヨーロッパ北部、西部アジア、北アフリカに分布する落葉低木で高さ1~3 m、花期は5~6月、果実は楕円形で緋紅色である。これは古代バラの親で、イギリスでは野バラといえば本種をさし、園芸品種の台木用として栽培される。食品としてはお茶、ジャム、スープなどとして利用されてきた。生のローズヒップにはビタミンCが豊富に含まれているため、貴重なビタミン源として使用されてきたが、これらは乾燥や加工の過程でその多くが損失することが分かっている。中国の伝統医学ではナニワイバラ (Rosa laevigata Michx.) の果実が「金桜子 (キンオウシ、jin ying zi)」と呼ばれ、腎臓や泌尿器の不調に使用されている。
法規・制度	 ■食薬区分 ・ローズヒップ 果実、果皮、茎、花:「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。 ■海外情報 ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・タンニン (101) などを含む。
分析法	-

		有効性
ヒトでの評価	循環器・ 呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・	・2007年10月までを対象に8つのデータベースで検索できた無作為化プラセボ対照 試験3報 (全て同一メーカーの提供) について検討したメタ分析において、変形性関節症患者によるローズヒップパウダーの摂取は、主観的な痛みの減少との関連が認められた (PMID:18407528)。 RCT ・変形性関節症の男女94名 (男性48~85歳、女性38~92歳、デンマーク) を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、ローズヒップ含有食品5 gを3ヶ月間摂取させたところ、膝や臀部の疼痛が軽減した (PMID:16195164)(PMID:15330493)。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	RCT ・軽度肥満者32名 (試験群16名、平均50.1±9.2歳、日本)を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、ローズヒップ抽出物100 mg/日を12週間摂取させたところ、内臓脂肪面積の低下が認められたが、体重、BMI、体脂肪率、全脂肪面積、皮下脂肪面積、血圧、糖代謝マーカー (空腹時血糖)、血中脂質 (TC、HDL-C、LDL-C、TG) に影響は認められなかった (PMID:25834460)。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)

(58) The Complete German Commission E Monographs

(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).

(PMID:16195164) Scand J Rheumatol. 2005;34(4):302-8.

(PMID:15330493) Phytomedicine. 2004;11(5):383-91.

(PMID:18407528) Osteoarthritis Cartilage. 2008 Sep;16(9):965-72.

(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳

(PMID:15467705) Eye (Lond). 2005 May;19(5):595-6.

(PMID:25834460) Diabetes Metab Syndr Obes. 2015 Mar 6;8:147-56.

(PMID:28539725) Pharmacogn Mag. 2017 Apr-Jun;13(50):300-308.

(101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規

© National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition. All Rights Reserved.